BUSINESS REPORT 2025

第52期 中間報告書

中間連結会計期間
（2025年1月1日 ～ 2025年6月30日）

CREATE MEDIC

クリエートメディック株式会社

証券コード　5187

からだにやさしい
未来の医療を築く

株主の皆様へ

代表取締役社長　今澤　修

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第52期の中間報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の堅調な推移や企業によるデジタル化・脱炭素に向けた設備投資の継続により緩やかな回復基調となっております。一方で、物価高騰による個人消費の落ち込みが見られ、依然として不確実性の高い状況が続いております。海外においては、米国との関税交渉が妥結となりましたが、サプライチェーンは不安定な状況が継続し、加えて中国の不動産市場停滞による経済成長の鈍化も続いているため、先行き不透明感が残る状況となっております。

■当中間連結会計期間の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社は新たな中期経営計画の達成に向け、国内では新製品の上市をはじめとする営業活動の強化と販売価格の改定により収益性向上を図り、併せて仕入先の変更による原価低減にも努めてまいりました。また、海外販売においては、インドおよび東南アジア地域への販路拡大を積極的に進めており、将来的な事業の柱となる海外販売事業の基盤構築に向けた取り組みを強化しております。

以上により、売上高につきましては、自社販売、OEM販売が増加し、特に自社販売は新発売の泌尿器系製品の好調もあり売上増加となりました。海外販売は、特に欧州向け輸出製品がMDR（欧州医療機器規則）移行切替前の前倒し受注があったものの、中国での販売が減少したことで全体として横ばいとなりました。

利益面では、本年4月の自社販売における価格改定が市場に受け入れられたことと、生産のコストダウンや生産拠点の最適化により売上原価率が低下し、さらに販売費及び一般管理費は前年同期における費用負担が解消されたことで、営業利益、経常利益が大幅な増加となりました。一方で、親会社株主に帰属する中間純利益は、前

年同期に本社売却による特別利益を計上したため当中間連結会計期間は減少しておりますが、当初見込みを大幅に上回る水準となっております。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,564百万円（前年同期比4.2％増）、営業利益548百万円（前年同期比88.3％増）、経常利益525百万円（前年同期比51.8％増）、親会社株主に帰属する中間純利益412百万円（前年同期比25.0％減）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、昨年度の泌尿器系一部製品の欠品の反動から回復し、売上が大幅に増加したことと販売価格の改定により、売上高3,635百万円（前年同期比7.0％増）となりました。

海外販売のうち、輸出販売は欧州向けの泌尿器系製品が好調に推移し売上が増加いたしました。一方で中国販売は消化器系製品が好調を維持したものの新たな手技の普及に伴い泌尿器系製品が減少したことにより、売上高2,295百万円（前年同期比0.0％増）となりました。

ＯＥＭ販売は、血管系製品の一部終了に伴う減少があったものの、内視鏡関連製品が好調であったため、売上高634百万円（前年同期比4.2％増）となりました。

■2025年12月期の見通し

上半期につきましては、自社販売の新製品の好調な売上と価格改定前の買い込み需要および海外販売におけるMDR移行切替前の前倒し受注が寄与し、売上高が増加いたしました。さらに、価格改定の効果や原価低減活動の推進、販売費及び一般管理費の未消化により営業利益および経常利益は大きく増加いたしました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益が減少しておりますが、前年同期に発生した本社売却の特別利益の反動によるものであり、当初見込みを大幅に上回る水準となっております。

下半期につきましては、自社販売において泌尿器系製品の好調が継続するほか、新製品の売上増加も見込まれており、売上高のさらなる伸長が期待されますが、上半期における前倒し受注の反動が予想されます。

利益面では、価格改定の効果に加え、一部製品の海外生産移管によるコスト削減効果の拡大により、利益の増加を見込んでおりますが、販売費及び一般管理費の発生に加え、為替変動やサプライチェーンの不安定化など、依然として外部環境に不透明感が残っております。

このような状況のもと当社グループは、今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

■配当方針

当社グループは、利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいる所存であります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき17円とさせていただきます。また、年間配当金につきましては、当中間配当金17円を含め、37円を予定しております。

業績の推移

区分		2023年（第50期）	2024年（第51期）	2025年（第52期）
売上高（百万円）	中間期	6,025	6,300	6,564
	通期	12,585	13,030	—
営業利益（百万円）	中間期	335	291	548
	通期	803	692	—
経常利益（百万円）	中間期	371	345	525
	通期	872	750	—
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	中間期	316	550	412
	通期	154	840	—
総資産（百万円）	中間期	19,292	20,010	18,233
	通期	19,258	20,047	—
純資産（百万円）	中間期	15,237	15,869	15,308
	通期	14,944	15,750	—
フリーキャッシュ・フロー（百万円）	中間期	△187	1,883	△312
	通期	335	2,520	—
1株当たり当期純利益（円）	中間期	34.78	61.35	48.35
	通期	16.92	95.41	—
1株当たり純資産額（円）	中間期	1,673.78	1,804.91	1,807.51
	通期	1,641.59	1,833.67	—
1株当たり配当金（円）	中間期	17	19	17
	通期	37	39	—

(注) 1. フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。
2. 2025年（第52期）の通期につきましては、現在期中により「—」で表示しております。
3. 2024年（第51期）中間期の1株当たり配当金19円は、設立50周年記念配当2円を含んでおります。

中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目＼期別	第52期中間期 (2025年6月30日現在) 金額	第51期中間期 (2024年6月30日現在) 金額	第51期 (2024年12月31日現在) 金額
(資産の部)			
流動資産	**12,623**	**13,794**	**13,940**
現金及び預金	4,708	6,138	6,317
受取手形	74	143	95
電子記録債権	1,161	1,191	1,199
売掛金	1,700	1,698	1,867
商品及び製品	2,363	2,164	2,091
仕掛品	760	915	774
原材料及び貯蔵品	1,047	1,004	1,055
その他	815	538	544
貸倒引当金	△8	△1	△5
固定資産	**5,609**	**6,216**	**6,107**
有形固定資産	**4,534**	**4,924**	**4,843**
建物及び構築物	2,398	2,595	2,544
機械装置及び運搬具	435	511	473
土地	1,086	1,086	1,086
建設仮勘定	124	185	191
その他	490	545	548
無形固定資産	**452**	**558**	**532**
借地権	160	185	177
その他	292	372	354
投資その他の資産	**621**	**733**	**731**
投資有価証券	541	654	619
繰延税金資産	42	36	71
その他	37	42	40
資産合計	**18,233**	**20,010**	**20,047**

科目＼期別	第52期中間期 (2025年6月30日現在) 金額	第51期中間期 (2024年6月30日現在) 金額	第51期 (2024年12月31日現在) 金額
(負債の部)			
流動負債	**1,907**	**2,826**	**3,105**
支払手形及び買掛金	524	366	534
電子記録債務	149	213	248
短期借入金	－	800	800
未払法人税等	65	97	83
賞与引当金	62	63	53
役員賞与引当金	4	6	12
その他	1,102	1,278	1,372
固定負債	**1,017**	**1,315**	**1,191**
退職給付に係る負債	767	976	836
繰延税金負債	192	226	261
資産除去債務	2	2	2
長期未払金	12	27	28
その他	42	81	63
負債合計	**2,925**	**4,141**	**4,296**
(純資産の部)			
株主資本	**13,151**	**13,091**	**13,023**
資本金	1,461	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486	1,486
利益剰余金	11,319	10,954	11,078
自己株式	△1,116	△811	△1,003
その他の包括利益累計額	**2,157**	**2,777**	**2,727**
その他有価証券評価差額金	143	146	129
繰延ヘッジ損益	△2	4	6
為替換算調整勘定	1,816	2,527	2,380
退職給付に係る調整累計額	199	99	210
純資産合計	**15,308**	**15,869**	**15,750**
負債・純資産合計	**18,233**	**20,010**	**20,047**

(注) 1．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2．有形固定資産の減価償却累計額　7,199百万円

■中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目＼期別	第52期中間期（2025年1月1日～2025年6月30日）	第51期中間期（2024年1月1日～2024年6月30日）	第51期（2024年1月1日～2024年12月31日）
	金額	金額	金額
売上高	6,564	6,300	13,030
売上原価	3,600	3,560	7,326
売上総利益	2,964	2,740	5,704
販売費及び一般管理費	2,415	2,449	5,011
営業利益	548	291	692
営業外収益	27	61	73
営業外費用	50	6	15
経常利益	525	345	750
特別利益	182	390	390
特別損失	149	－	53
税金等調整前中間(当期)純利益	557	736	1,086
法人税、住民税及び事業税	190	156	259
法人税等調整額	△45	29	△13
中間(当期)純利益	412	550	840
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	412	550	840

(注) 1．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2．1株当たりの中間純利益（期中平均発行済株式数による）48円35銭

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目＼期別	第52期中間期（2025年1月1日～2025年6月30日）	第51期中間期（2024年1月1日～2024年6月30日）	第51期（2024年1月1日～2024年12月31日）
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24	1,326	2,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288	556	270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△504	△877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△262	324	248
現金及び現金同等物の増減額	△1,679	1,703	1,891
現金及び現金同等物の期首残高	5,662	3,770	3,770
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,982	5,473	5,662

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,461	1,486	11,078	△1,003	13,023	129	6	2,380	210	2,727	15,750
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△171		△171						△171
親会社株主に帰属する中間純利益			412		412						412
自己株式の取得				△118	△118						△118
自己株式の処分		0		5	5						5
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						13	△9	△563	△10	△570	△570
中間連結会計期間中の変動額合計	－	0	241	△113	127	13	△9	△563	△10	△570	△442
当中間期末残高	1,461	1,486	11,319	△1,116	13,151	143	△2	1,816	199	2,157	15,308

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間財務諸表（要旨）

■中間貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	第52期中間期（2025年6月30日現在）	第51期中間期（2024年6月30日現在）	第51期（2024年12月31日現在）
	金額	金額	金額
（資産の部）			
流動資産	7,930	8,589	8,216
固定資産	4,930	5,047	5,079
有形固定資産	2,368	2,325	2,372
無形固定資産	242	325	302
投資その他の資産	2,318	2,396	2,404
資産合計	12,860	13,636	13,296
（負債の部）			
流動負債	2,025	2,642	2,740
固定負債	1,042	1,114	1,112
負債合計	3,068	3,757	3,853
（純資産の部）			
株主資本	9,651	9,728	9,306
資本金	1,461	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486	1,486
利益剰余金	7,819	7,591	7,361
自己株式	△1,116	△811	△1,003
評価・換算差額等	140	151	136
その他有価証券評価差額金	143	146	129
繰延ヘッジ損益	△2	4	6
純資産合計	9,792	9,879	9,442
負債・純資産合計	12,860	13,636	13,296

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間損益計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	第52期中間期（2025年1月1日～2025年6月30日）	第51期中間期（2024年1月1日～2024年6月30日）	第51期（2024年1月1日～2024年12月31日）
	金額	金額	金額
売上高	5,271	4,948	10,161
売上原価	3,383	3,145	6,410
売上総利益	1,887	1,803	3,751
販売費及び一般管理費	1,922	1,979	3,973
営業損失（△）	△34	△176	△222
営業外収益	828	485	483
営業外費用	64	3	7
経常利益	729	305	254
特別利益	158	300	300
特別損失	168	－	53
税引前中間（当期）純利益	719	606	500
法人税、住民税及び事業税	87	71	67
法人税等調整額	1	30	△7
中間（当期）純利益	630	503	440

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）

（単位：百万円）

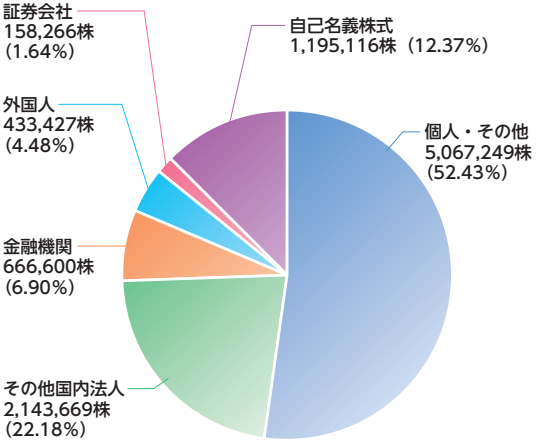
	株主資本										評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,311	7,361	△1,003	9,306	129	6	136	9,442
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当							△171	△171		△171				△171
中間純利益							630	630		630				630
自己株式の取得									△118	△118				△118
自己株式の処分			0	0					5	5				5
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）											13	△9	4	4
中間会計期間中の変動額合計	－	－	0	0	－	－	458	458	△113	345	13	△9	4	349
当中間期末残高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,769	7,819	△1,116	9,651	143	△2	140	9,792

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況（2025年6月30日現在）

●発行可能株式総数	30,000,000株
●発行済株式の総数	9,664,327株
●株主数	9,427名

株式分布状況



役員（2025年9月5日現在）

代表取締役社長	今澤　修	
専務取締役	赤岡洋三	
取締役	秋元克也	
取締役常勤監査等委員	橋井　敦	
取締役監査等委員	磯貝和敏	（社外取締役）
取締役監査等委員	日暮良一	（社外取締役）
取締役監査等委員	工藤敦子	（社外取締役）

会社の概要（2025年6月30日現在）

●本社所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル８階
●設立	1974年8月12日
●資本金	1,461,735,390円
●事業所	北海道工場、水戸事業所、殿町イノベーションオフィス・研究開発センター、札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店
●連結子会社	大連クリエート医療製品有限公司 クリエート国際貿易（大連）有限公司 九州クリエートメディック株式会社 ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコーンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL（Quality of life）の向上を目指しております。

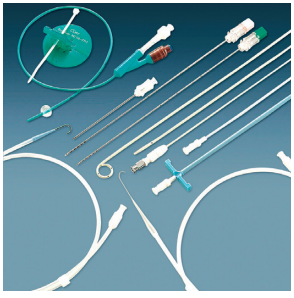
泌尿器系

留置導尿関連製品
全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。

腎瘻（じんろう）造設術関連製品
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。

自己導尿関連製品
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



PTCD関連製品
胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。

ドレーンチューブ
手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。

消化器系

イレウス関連製品
イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。

胃瘻（いろう）造設術関連製品
脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。

栄養投与関連製品
開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系

麻酔関連製品
術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。

呼吸器関連製品
気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか

看護関連製品
あらゆる尿路ストマー装具や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。

生検針
生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

●事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
●定時株主総会	毎年3月下旬
●定時株主総会の基準日 期末配当の基準日	毎年12月31日
●中間配当の基準日	毎年6月30日
●公告方法	電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
●株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話0120−782−031（フリーダイヤル） 受付時間9：00～17：00（土・日・祝日および12/31～1/3を除く）

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座について
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

CREATE MEDIC クリエートメディック株式会社

本　社
〒222-0033　横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル８階
TEL（045）777-0111　URL https://www.createmedic.co.jp

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。